議員派遣結果報告書

令和８年第２回定例町議会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告します。

令和８年９月９日

上富良野町議会議長　中　澤　良　隆　様

議会広報特別委員会
委員長　茶　谷　朋　弘

記

件　名　　北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会

１　調査及び研修の経過

議会広報特別委員会は、議会の活動をより分かりやすく町民に知らせるための広報誌発行に関する調査研究のため、令和８年８月 18 日、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会に参加した。

２　調査の結果

（１）議会広報研修会

◎講　師　議会広報サポーター　芳　野　政　明　氏

◎演　題　議会の見える化＆住民との信頼関係 −議会広報の基本と編集−

住民により読まれ、議会の活動や内容が伝わる広報誌とするため、議会広報の基本や編集の手法について研修が行われた。午前の部では、議員のなり手不足や選挙における投票率低迷、住民に解りやすく住民の意見や要望を反映させる「開かれた議会」に向けた改革などの背景から、ただ報告するだけの広報誌から広報と広聴の両面を併せもつ、住民と議会を結ぶ架け橋としての住民参加を促す住民自治推進の広報へと広報誌を発行する目的が変わっていることについて述べられた。

午後の部では、その目的に向けた具体的な手法を道内の各町議会が発行している広報誌を例に、表紙やレイアウト、見出し、文章表現などについて、優れている点や改善すべき点の解説を受け、読者の目線に立った紙面づくりの重要性を学んだ。特に、手に取りたくなる表紙や具体的で分かりやすい見出し、情報を取捨選択し短くても伝わりやすい表現を心がけること、ページ全体の流れを意識した構成が重要であることを学んだ。さらに、地域住民に文章を確認してもらうなど、議会内部だけではなく住民の視点を取り入れながら広報誌を作成することも、より開かれた議会広報につながるとの指摘があった。

（2）まとめ

今回の研修を通じ、議会広報誌は単に議会で行われたことを掲載するだけではなく、町民に「読みやすく、分かりやすく、伝わる」ことを意識し、議会と町民をつなぐ役割を担うものであることを改めて認識した。

今後は、読者の目線に立った情報の取捨選択や分かりやすい表現、興味を引く見出し、見やすいレイアウトなどを取り入れ、議会活動への理解や関心を高められる広報誌づくりに努めていきたい。また、住民の意見を取り入れるなど、一方通行の情報発信とならないよう工夫し、議会と町民との距離を縮め、信頼関係の構築につながる広報誌を目指していきたい。